

港北区高潮ハザードマップ

高潮浸水想定区域(想定最大規模※)

この高潮ハザードマップは、高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは
「想定し得る最大規模の高潮」による氾濫を前提として予測したものです。

1 : 17,500

高潮浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

この高潮浸水想定区域の範囲や深さは、国内観測史上、最も大きな台風が、沿岸に最悪の被害を与える経路で襲来した場合をシミュレーションにより予測したものです。

【想定する台風】
・中心気圧：910hPa(室戸台風級) ・暴風半径：20,30,40,75km(伊勢湾台風級)
・移動速度：20,30,40,50,53,60,73km/h(伊勢湾台風級)

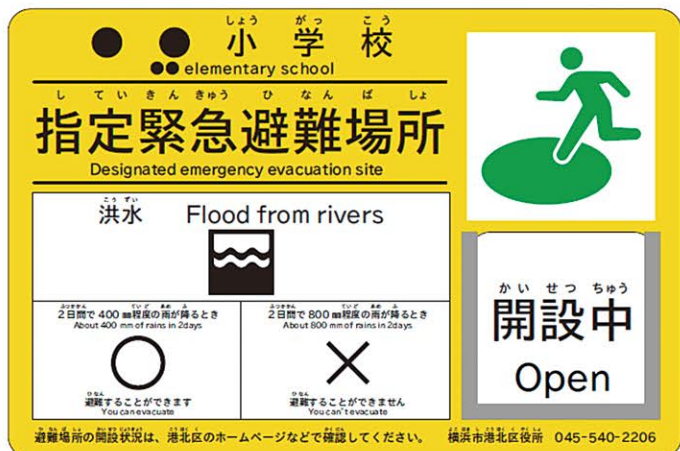
なお、この高潮浸水想定区域は、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮してません。
したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

※神奈川県ウェブサイト
(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/jy2/takashio/tokyo-bay.html>)



港北区内の指定緊急避難場所には、このような看板が設置されています。

開設される避難場所は、予想される降雨量によって異なりますので、必ず複数の避難場所を日頃から確認しておきましょう。



港北区役所が開設する避難場所について

- ◇【警戒レベル5】緊急安全確保の対象区域となった場合や自宅周辺が浸水し始めている場合は、避難場所へ移動せず、自宅の上階や近隣の高いところにただちに避難してください。
- ◇2日間で400mm以上の降雨がある場合は、港北区内で広範囲の浸水が想定されており、避難場所の数が圧倒的に不足することが見込まれますので、安全な場所にある親戚、知人の家、宿泊施設等への避難を検討してください。

指定緊急避難場所一覧(切迫した災害の危険から逃れるための場所)

◇指定緊急避難場所※はあくまで避難場所の候補であり、災害時は災害規模や状況によって開設場所を判断するため、**すべての避難場所を開設するわけではありませんので、避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。**

※指定緊急避難場所:災害対策基本法に基づいた、切迫した災害の危険から逃れるための一時的な避難場所です。
災害種別(洪水、高潮及び内水浸水の想定時に開設する可能性がある指定緊急避難場所)

No.	指定緊急避難場所	所在地	位置	No.	指定緊急避難場所	所在地	位置
①	城郷小学校	鳥山町814	C-6	⑩	新吉田小学校	新吉田東6-44-1	D-3
②	大綱小学校	大綱山4-2-1	D-5	⑪	網島東小学校	網島東3-11-30	F-3
③	大曾根小学校	大曾根2-31-1	E-3	⑫	師岡小学校	師岡町986	E-4
④	網島小学校	網島西3-11-1	E-3	⑬	高田東小学校	高田東2-33-1	D-2
⑤	日吉台小学校	日吉本町1-34-21	F-2	⑭	太尾小学校	大綱山7-34-1	D-4
⑥	港北小学校	菊名2-15-1	E-6	⑮	新羽小学校	新羽町1452-2	C-4
⑦	菊名小学校	菊名5-18-1	E-5	⑯	北綱島小学校	網島西5-14-40	E-2
⑧	新田小学校	新吉田町3226	C-3	⑰	新吉田第二小学校	新吉田町491-1	C-2
⑨	高田中学校	高田町2439	D-1	⑱	大豆戸小学校	大豆戸町769	D-5
⑩	矢上小学校	日吉本町3-23-1	G-1	⑲	小机小学校	小机町1382-10	B-6
⑪	駒林小学校	日吉本町2-51-1	E-2	⑳	城郷中学校	小机町325	A-6
⑫	篠原小学校	篠原東3-27-1	D-6	㉑	新田中学校	新吉田東5-25-1	D-3
⑬	下田小学校	下田町4-10-1	E-1	㉒	樽町中学校	樽町4-15-1	F-4
⑭	日吉南小学校	日吉本町4-2-6	E-2	㉓	貫輪小学校	貫輪町2-7-1	F-2
⑮	篠原西小学校	篠原町1241-1	D-6				



要配慮者利用施設等の
確認はこちらから

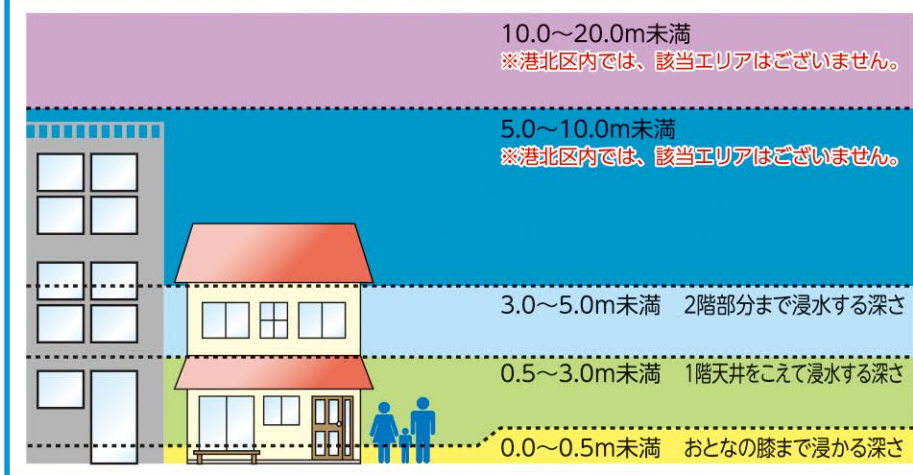
自主避難場所一覧

◇避難対象区域外の方が災害に備えて自主的に避難する場所として、次の施設を自主避難所として開設する場合があります。

No.	指定緊急避難場所	所在地	位置
①	篠原中学校	篠原町1342-3	D-6
②	港北公会堂	大豆戸町26-1	E-5
③	菊名地区センター	菊名6-18-10	E-5
④	日吉地区センター	日吉本町1-11-13	F-1
⑤	新田地区センター	新吉田町3236	C-3
⑥	網島地区センター	網島西1-14-26	E-3
⑦	篠原地区センター	篠原東2-15-27	D-6
⑧	大倉山記念館	大綱山2-10-1	E-4
⑨	港北区民文化センター	網島東1-9-10 新館2F4層	E-3

凡例(Explanatory Notes)

○浸水深のめやす



※内水ハザードマップの浸水深とは、浸水幅幅が異なります。

○避難する際に注意する箇所

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)	堤防決壊等に伴う氾濫流や河岸侵食により家屋が倒壊・流出するおそれがあり、屋内での避難ではなく、早期の立ち退き避難が必要な区域 ※家屋の構造、強度特性や崖岸対策等の違いにより、この区域の境界はあくまでも目安です。
アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、短時間で安全な通行に支障をきたすおそれがある箇所(進入すると危険なため、短時間の通行は避けてください。)
土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。
観覧川多目的遊水地(国土交通省管理)	観覧川の洪水を一時的に取り込み溜めることで氾濫を防ぎ、周辺地域や下流域を洪水の危険から守る治水施設(洪水時には川の水が流入するの注意が必要です。)

都県界	高速道路・有料道路
市区界	主要道路
町区界	避難場所
J/R線・駅	雨量観測所
私鉄線・駅	水位観測所
市営地下鉄線・駅	河川監視カメラ

背景図	横浜市区図複製承認番号 令3建都計第 9024 号
河川	横浜市建築局都市計画基本図データ(地図レベル2500)により作成
浸水想定区域	神奈川県 高潮浸水想定区域図(令和6年2月指定)
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域図(令和7年7月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域図(令和7年7月現在)

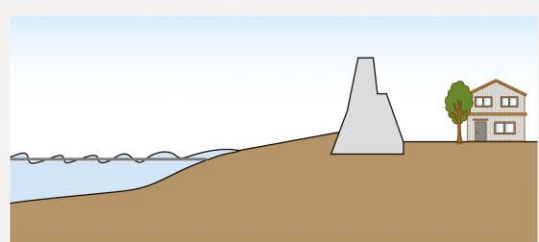
3 高潮の発生について

高潮とは

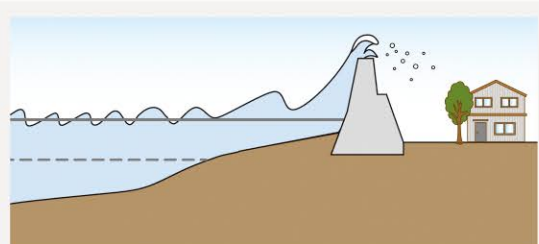
高潮とは、台風や発達した低気圧に伴って、海岸で海面が異常に高くなる現象です。

高潮が発生すると海水が堤防を越えてしまったり、台風によって発生した高い波は越波するようになり、背後地が浸水する可能性が高くなり、とても危険です。

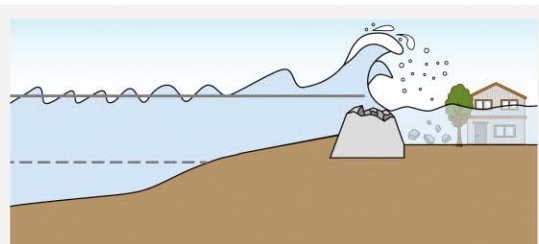
① 砂浜や堤防によって、普段は安全です。



② 高潮が発生すると海面が上昇し、越波や背後地への浸水が起こりやすくなります。



③ 高潮の規模が極めて大きい場合には、堤防が壊れて背後地に多大な被害が発生する可能性が高くなります。



高潮の主な発生原因

① 気圧低下による海面の吸い上げ

台風や低気圧の中心気圧は周辺より低いため、周囲の空気は海面をおしつけ、中心付近の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。

気圧が1ヘクトパスカル(hPa)低くなると、海面は約1センチメートル上昇します。

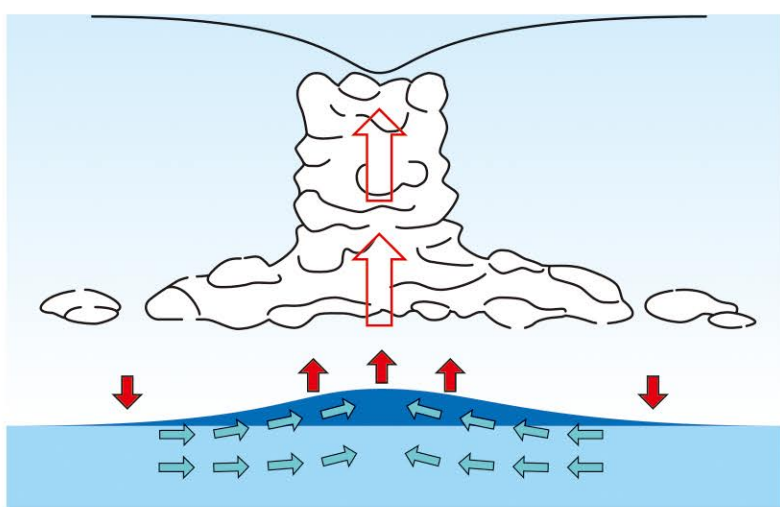


図-1 吸い上げ効果

国土交通省「高潮発生メカニズム」を元に作成
(https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kaigan/kaigandukuri/takashio/1mecha/01-2.htm)

② 風による吹き寄せ効果

台風に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。

水深が浅いほど、風の吹き寄せ作用がよく働き、高潮が発達しやすくなります。

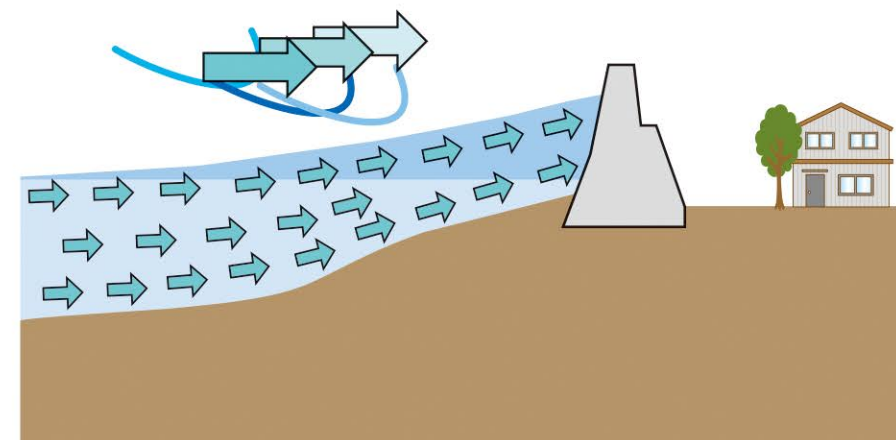


図-2 吹き寄せ効果

国土交通省「高潮発生メカニズム」を元に作成
(https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kaigan/kaigandukuri/takashio/1mecha/01-2.htm)

想定条件

中心気圧 910hPa、暴風半径 20,30,40,75km、
移動速度 20,30,40,50,53,60,73km/hの台風